

平成28年度 京都市教育予算

【予算規模】

| 項 目    |            | 28年度       | 27年度       | 増△減        | 前年比    |
|--------|------------|------------|------------|------------|--------|
| 教 育 費  |            | 465億4700万円 | 504億 200万円 | △38億5500万円 | △7.6%  |
| 内<br>訳 | 学校・事務局等運営費 | 175億7798万円 | 176億3985万円 | △6187万円    | △0.4%  |
|        | 建物等施設整備費   | 92億6602万円  | 134億1615万円 | △41億5013万円 | △30.9% |
|        | 人 件 費      | 197億 300万円 | 193億4600万円 | + 3億5700万円 | +1.8%  |

【事業概要ごとの予算】

| 項 目                    | 28年度      | 27年度       | 増△減        | 前年比    |
|------------------------|-----------|------------|------------|--------|
| 学習指導の充実<br>(3～6ページ)    | 85億2337万円 | 85億3932万円  | △1595万円    | △0.2%  |
| 児童・生徒の健全育成<br>(6～9ページ) | 15億9456万円 | 15億6459万円  | +2997万円    | +1.9%  |
| 高等学校教育の充実<br>(9ページ)    | 6億1410万円  | 6億7628万円   | △6218万円    | △9.2%  |
| 幼児教育の振興<br>(9～10ページ)   | 24億7051万円 | 23億8681万円  | +8370万円    | +3.5%  |
| 教育環境の整備充実<br>(10ページ)   | 80億4554万円 | 123億6144万円 | △43億1590万円 | △34.9% |
| 生涯学習の推進<br>(11ページ)     | 20億4354万円 | 20億1764万円  | +2590万円    | +1.3%  |

## 【予算の特色】

平成28年度京都市予算は、極めて厳しい財政状況のもとではあるが、市政の基本計画である「はばたけ未来へ！京<sup>みやこ</sup>プラン」に掲げた京都の未来像を着実に実現するための経費に、財源が重点配分された。

教育委員会では、「一人一人の子どもを徹底的に大切にする」教育理念の下、経済状況や家庭環境にかかわらず、全ての子どもに「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む教育の更なる充実に向け、

- 1 独自予算による小・中学校における少人数学級、小中学校学習支援プログラム、放課後・学力ステップアップ事業、土曜学習等による学力向上、
- 2 しなやかな道徳教育総合実践推進事業や伝統文化体験活動等による豊かな人間性の育成、
- 3 学校給食における「和食」の充実や薬物乱用防止教室、子どもの体力向上「ジャンプアップ・プロジェクト」等による健全でたくましい子どもの育成

などに取り組むと同時に、就学支援シートの活用・充実や総合育成支援員の配置充実など障害のある子どもへの教育の推進、「いじめの防止等に関する条例」の実践やスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの増員等によるいじめ・不登校対策、学校運営協議会設置校の拡大などの開かれた学校づくり、市立高校かがやきプランの実施など魅力あふれる高校づくり、さらには、子どもたちによる国際文化観光都市・京都の魅力発信事業や「京の食文化」普及・啓発事業など京都ならではの取組を、独自の方式で積極果敢に推進する。

さらに、日々の学びを支える学校施設について、環境にやさしく、防災機能を高める改築・改修のほか、トイレ洋式化や学校図書館の環境整備など、全市的な学習環境の充実を展開する。

また、「豊かな人生は学びとともにある」という観点から、まち全体を学びの場とすることで、あらゆる世代の方が自ら生涯を通じて学び、その学びをまちづくり、地域、子どもたちのために活かすことのできる取組を進めるとともに、次代を担う子どもたちを市民ぐるみで健やかに育むため、「京都はぐくみ憲章（子どもを共に育む京都市民憲章）」の実践に向けた取組を推進する。

この予算を最大限に活用し、市民の皆様と共に汗する「共<sup>きょうかん</sup>汗」で、全国をリードする教育改革をより一層強力に推進する。

# 【 事業概要 】

単位：千円

右端( )内は  
27年度予算額

## 1 学習指導の充実 ～確かな学力の向上を目指して～

8,523,365 (8,539,321)

### (1) 新学力向上アクションプラン推進

5,804,240 (5,885,437)

#### ①京まなびプロジェクト推進

小・中学校全校で「学力向上プラン」作成

小・中学生の自学自習を支援する「京都市小中一貫学習支援プログラム」の実施

独自の分析システムなどによる全国学力・学習状況調査及び京都市小中一貫学習支援プログラムの結果等の分析・活用

#### ②国の基準を上回る少人数学級の推進

市独自予算による「小学校2年生における35人学級」「中学校3年生における30人学級」実施

#### ③新教育課程推進プラン

生きる力の育成を目指す「豊かな学びリーディングスクール」推進事業

教科化に向けた小学校における外国語(英語)活動、道徳教育の更なる推進

#### ④校区の状況に応じた小中一貫教育の推進

義務教育9年間を見通した、計画的・系統的な教育の推進

27年度中に策定する「京都市小中一貫教育ガイドライン(試案)」を元に小中一貫教育新制度への移行に向けた検討を進める

#### ⑤全小・中学校における土曜学習実施

学校運営協議会、学生や地域の方々等ボランティアの協力による全校実施

#### ⑥放課後・学力ステップアップ事業

全ての子どもたちの学習習慣の確立と基礎学力の定着を図るため、地域ボランティアや教員志望の学生、退職教員等の協力のもと、放課後の学習をサポートする

「未来スタディ・サポート教室」の実施校拡大など

#### ⑦産学公連携推進事業

##### 京都大学との連携・教員の知的創造力探究事業

京都大学の最先端の研究に市立学校教員が触れる機会の創出

京都大学と市立学校教員の共同研究の推進

その他、京都大学ジュニアキャンパス共催・生物多様性等について考える教材の共同作成など

##### 京都芸術教育コンソーシアム事業

大学と小中学校が連携し、それぞれの資源を生かした芸術教育の推進など

#### ⑧「学生ボランティア」学校サポート事業

111の大学等との連携による学生の学校教育活動へのサポート体制充実

#### ⑨指導内容の充実

##### 専科指導の推進～スクール・サポーターの配置

市独自予算により、音楽・図工・体育等の専門教科の免許を持つ指導教員を全小学校に配置

校内LAN・デジタルテレビ等ICT機器の全校での活用

### (2) 教職員の資質・指導力向上

212,241 (220,408)

[再掲30,081]

#### ①ミドルリーダー教職員養成総合実践推進事業

各校でミドルリーダーを核としたOJTの推進、「京・教育研究・研修マイスター」を委嘱し、研修・研究の中心となって活動、「ミドルリーダー養成講座」などの実施

#### ②全教職員を対象にした教職員評価システムの実施

教職員自身による目標設定とその達成状況の自己評価、評価者(管理職)による評価

#### ③カリキュラム開発支援センターの充実

平日朝9時～夜9時まで、土曜も開館、教職員の自主的な研修・研究活動を支援

**④総合教材ポータルサイトによる教育情報発信事業**

総合教育センターで実施した研修や優れた授業等, 学校内での研修等に活用できる映像研修資料と, 授業で活用できる教材などを配信

**⑤「京都教師塾」運営**

教師を目指す学生や社会人を対象とし, 学校実地研修や授業演習などを実施

**各教科・領域別研修, 初任者研修・10年目研修, 小学校外国語(英語)教育・道徳教育・総合育成支援教育・伝統文化やタブレット端末等のICT活用の充実に向けた研修, 教育実践功績表彰 など**

**(3) 市民との共汗で進める開かれた学校づくり**

**31,625 (31,285)**

**①「学校運営協議会(コミュニティ・スクール)」活動充実・設置拡大**

保護者・地域・公募委員等からなり, ボランティアの参画を進める京都方式での「学校運営協議会」の活動充実・設置拡大(26年度に小学校全校への設置が完了し, 27年度末現在で全国最多の233校園に設置)

**②学校評価の推進による学校運営の改善**

学校・家庭・地域が相互に高めあう「京都方式」の学校評価システムの推進

**③学校ふれあい手づくり事業の推進**

学校と子ども・保護者・地域住民が協力し合い, 学校園の敷地内に, 皆が気軽に利用し, ふれあうことのできる新たな学びの場を手づくりで創出

**(4) 社会的・職業的自立に向けた「生き方探究教育(キャリア教育)」の推進**

**87,208 (81,718)**

**①「京都市まなびの街生き方探究館」での学習**

産学公連携の下, 生き方探究教育推進のため, 企業・市民のボランティア等の参画を得て運営

**スチューデントシティ・ファイナンスパーク学習**

体験学習を通して社会の仕組みや経済の働きを学び, 社会的・職業的自立に向けて必要な能力や態度を育む

**京都モノづくりの殿堂・工房学習**

「京都モノづくりの殿堂・工房」を活用して, モノづくりを学び体験する機会を創出

**②京少年モノづくり倶楽部**

モノづくりに興味・関心のある子どもたちに, 電子・木工・機械等様々な活動の場を提供

**③「生き方探究・チャレンジ体験」推進事業**

全市立中学校と総合支援学校の生徒約10,000人が3,700事業所で職場体験, 勤労体験

**(5) 子どもたちによる国際文化観光都市・京都の魅力発信事業**

**376,939 (393,729)**  
**[再掲222,799]**

～2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて～

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて, 京都に来られた全ての方に満足いただける京都ならではの「おもてなし」の実践

**①子どもたちが京都を「知る」取組**

「歴史都市・京都」に対する興味関心・理解を高め, 実際に体験し, それらを尊重する態度の育成に向けた伝統文化教育の充実  
「京都・観光文化検定試験3級」の受験促進

**②子どもたちが京都を「伝える」取組**

海外からの観光客をはじめ外国人に対して英語により物怖じすることなく「おもてなし」を実践することができる, 国際観光文化都市・京都ならではのグローバルな人材の育成  
イングリッシュシャワーの全小中学校実施, 英語教育推進研究拠点校の指定や実用英語検定「英検」の受験促進などを実施

(6) 伝統文化教育の充実 71,414 (74,096)  
[再掲71,414]

①古典の日法制化を契機とした取組の充実

24年9月の「古典の日に関する法律」施行を受け、日本の心を伝える古典の振興に資するよう、学校や家庭、地域などで古典に親しむ伝統文化体験など様々な機会を創出

②歴史都市・京都から学ぶ「ジュニア京都検定」(基礎・発展・名人コース)

市民ぐるみで、京都に息づく日本の文化、伝統を子どもたちに引き継ぐため、「みやこ子ども土曜塾」等とも連携し、「知識」と「体験」の一体化を図る

**新**③市立高校における茶道を中心としたおもてなし事業[3,000]

市立高校生徒を対象とし、茶道を中心とした伝統文化体験事業を実施

京都創生策と連動した伝統文化教育の推進、伝統文化体験総合推進事業、茶道等の伝統文化に関する部活動充実、地域人材や専門家等と連携した取組の展開 など

(7) 英語教育の充実 229,299 (218,159)  
[再掲229,299]

**新**グローバルコミュニケーション力育成プロジェクト

小・中学校での京英語スタンダードの実践、高校でのオールイングリッシュ授業の実施など国際社会で活躍するグローバル人材の育成、高校英語4技能(読む、聞く、話す、書く)にかかると実践的英語力向上事業、ジュニア京都検定テキストの英語訳版の作成 など

(8) 障害のある幼児・児童・生徒の教育の充実 518,043 (500,415)

①総合育成支援員の配置充実

普通学級に在籍するLD等の発達障害のある幼児・児童・生徒に対して、学習活動・教育活動を支援する総合育成支援員の配置充実

②LD等の発達障害のある児童・生徒への支援・教職員の専門性の向上

就学支援シートの活用・充実、総合育成支援教育の中核となる専門性を持った教員の育成 など

**新**③障害者差別解消法施行に伴う取組

教職員研修や保護者などへの普及啓発事業、音声認識システムの試行導入や拡大読書器の充実など学習環境整備

東山総合支援学校開校(28年4月)、巢立ちのネットワーク、総合支援学校デュアルシステム(職業学科生徒の進路開拓に向けた企業との連携)、医療的ケア実施体制の整備充実、総合育成支援教育ボランティア養成・参画、育支援センター(総合育成支援教育相談センター)における早期からの相談と支援の実施、育成学級・通級指導教室見学会「出会いとふれあいのオープンスペース」 など

～言語活動の充実・コミュニケーション能力の育成に向けて～

(9) 国語力・読解力向上総合推進事業 169,934 (149,363)

～本との楽しい出会いの創出と心豊かに生きるための読書習慣の定着に向けて～

①「第3次京都市子ども読書活動推進計画」実践

乳幼児期から中学生まで、成長段階に応じた読書ノートの配布  
ビブリオバトルやブックトークの実施、図書館からの図書出前専用車両「青い鳥号」利用などによる、京都市図書館と学校・幼稚園が連携した読書活動の推進  
児童コーナーの整備・充実、中学生の読書活動支援など、京都市図書館の利用促進

②学校図書館活用促進事業

**新** 学校司書(学校図書館運営支援員)配置事業の充実[108,500]

司書資格等を有する学校司書(学校図書館運営支援員)の全小・中・支援学校への派遣日数を計画的に増やすことにより、魅力ある学校図書館づくりをさらに推進

みやこそまぎ使用の学校図書館備品整備

市民ボランティアの参画、朝読書の小・中学校全校実施、目指せ100冊！読書マラソン運動  
家庭・学校・市立図書館との連携による児童生徒の読書活動の推進、新聞を活用した教育の推進  
言語活動や図書館教育などの教員研修の充実 など

(10) 理科・環境教育の充実 75,843 (76,616)

①学校における観察・実験活動の促進

科学的な思考力・表現力の育成に向け、教員研修(観察実験講座)の充実や  
大学生や退職教員など観察・実験活動の支援員派遣、教材・教具の整備充実など

②青少年科学センターにおけるセンター学習

実験室学習・展示学習・プラネタリウム学習により、科学の不思議や楽しさを感じてもらい、  
科学者精神にふれてもらうことを目的とした理科学習の実施

③京都市環境教育スタンダードの実践

教科等を超えた横断的・総合的な取組として環境教育を推進

④「Do You Kyoto?」の精神を活かした取組の推進

全校で「環境宣言」策定・実践、子ども版環境家計簿「こどもエコライフチャレンジ」の推進、  
全小・中・総合支援学校でのKES学校版「環境にやさしい学校」認証取得推進など

節水機器・電力監視測定器の全校・園での運用

風力発電設備、太陽光発電システムの設置拡大、「緑のカーテン」、校庭芝生化の推進

雨水貯留タンク活用、給食牛乳紙パック再生「めぐれっとペーパー」など

(11) ICT環境の充実 2,069,260 (2,101,457)  
[再掲635,152]

①校務事務電算化システム

校務事務の電算化・標準化・情報の共有化等を図ることで、事務の効率化を飛躍的に進める

②コンピュータ教室・校内LAN・電子黒板・デジタルテレビ等ICT機器の全校での活用

インターネット活用指針に基づく、情報モラル等に関する教育 など

③県費負担教職員の給与費等の移管に向けた体制整備

平成29年4月からの移管に向け、給与支給事務等の受け入れ体制を構築

(12) 国際化に対応した教育の推進 83,783 (66,198)  
[再掲17,719]

①留学生による学校活動支援事業

外国にルーツをもつ児童・生徒への母語支援活動や、多文化学習推進プログラムにおいて、  
留学生の参加を促進

**新**②多文化が息づくまちづくりに向けた日本語指導体制等の充実

(日本語指導トータルサポートシステム・日本語指導担当者指導力向上プログラム)[24,316]

帰国・外国人児童生徒等、日本語指導が必要な児童生徒のための指導者派遣や

日本語指導ボランティア・通訳ボランティアの派遣など、総合的な支援を実施するとともに、

日本語指導者の指導力向上を図る取組を充実する

土曜コリア教室、民族の文化にふれる集い など

**2 児童・生徒の健全育成**  
～子どもたちの光り輝く笑顔のために～

1,594,563 (1,564,594)

(1) いじめ・不登校対策など生徒指導・教育相談の充実 374,259 (364,597)

①「いじめの防止等に関する条例」の実践・普及啓発

平成26年10月に「いじめの防止等に関する条例」を施行し、条例の更なる普及啓発を進める  
とともに、条例に基づき平成27年1月に策定した「いじめの防止等取組指針」に沿った取組を  
実践する

②スクールカウンセラーの小学校・中学校・高校・総合支援学校への全校配置

いじめ・不登校をはじめとする、子どもの抱える課題の早期発見、早期対応や  
予防的な取組の推進により、子どもたちの健全な成長や社会性の育成を促す

**新**③ **スクールソーシャルワーカー配置拡大[32,412]**

子ども・家庭への総合的な支援の充実に向け、教育分野のみならず、社会福祉等の知識や技術を用いて、児童生徒の課題解決や、児童相談所等関係機関とのネットワークの活用と連携強化などを図る

**④ いじめ・不登校対策に関する取組の実践**

クラスマネジメントシート活用

子どもの状況、特性に応じた指導や、いじめ・不登校などの未然防止、早期発見・対応に活用  
こども相談24時間ホットライン(年中無休・24時間対応の電話相談)

**新**

不登校児童生徒支援に関する教員向けハンドブック作成・配布

ICTを活用した不登校児童・生徒の学習支援

不登校・問題行動等児童生徒を対象とする体験活動「啐啄21・絆」、フリースクール等との連携充実、  
学びのパートナー・ハートケアボランティアなど学生ボランティアの配置 など

**⑤ 不登校を経験した生徒のための中学校運営**

不登校生徒の学習支援を目的とした「洛風中学校」

形式卒業者の受入れや二部(夜間)学級生徒と不登校生徒がともに学ぶ「洛友中学校」

**⑥ 教育相談総合センター(こどもパトナ)運営**

教育相談(カウンセリング)、生徒指導、不登校等児童・生徒の活動の場「ふれあいの杜」の一体化  
「ふれあいの杜」学習室運営(こどもパトナ、伏見、北、四条大宮、西大路御池)

**⑦ 生徒指導の充実**

非行防止教室の全小・中・高等学校での実施 など

府市協調による学校非公式サイト等のネット監視業務など携帯電話・インターネットの  
弊害等から子どもを守る取組、地域生徒指導連絡協議会 など

**(2) 「しなやかな道德教育」総合実践推進事業**

**10,004 (6,834)**

「道德教育振興市民会議」の最終提言を踏まえ、学校・家庭・地域が一体となり、

小中一貫の下で展開される道德教育の充実

各中学校ブロックごとの小中一貫した道德教育の取組、教科化に向けた実践研究、

京都ならではの教材・指導資料の開発、道德教育推進教師に対する悉皆研修、

保護者・地域への道德授業の公開など

**子どもの規範意識を育む取組の展開**

中学校生徒会サミットの開催

非行防止教室など問題行動の未然防止に向けた京都府警との連携充実 など

京都市独自の指導資料集「夢いっぱい」(小学校)・「心の旅」(中学校)や、

文部科学省作成の「私たちの道德」を活用した授業の展開

**(3) 長期宿泊・自然体験推進事業 全小学校実施**

**19,246 (23,951)**

原則小学校5年生で花背山の家等において長期宿泊・自然体験活動

仲間意識や責任感、他人に共感する心や規範意識など豊かな人間性を育む

**(4) 放課後まなび教室 全小学校区実施**

**184,503 (184,798)**

全ての小学生を対象として、学校施設を活用し、地域・保護者・学生等の参画の下、

放課後の子どもたちの「自主的な学びの場」と「安心・安全な居場所」の充実を図る

**(5) 「京都はぐくみ憲章(子どもを共に育む京都市民憲章)」の普及啓発 6,000 (6,000)**

19年2月5日制定の「子どもを共に育む京都市民憲章」の理念を

(※保健福祉局計上額を含む)

日々の暮らしに生かし、より具体的な行動に移すための「実践推進条例」に基づく取組の実施

(6) みやこ子ども土曜塾 23,968 (21,090)

土・日・祝日、夏休み等の学校休業日に、市民ぐるみで子どもたちの豊かな学びと育ちの場を創出  
情報誌「GoGo土曜塾」発行  
「ジュニア京都検定」とも連携し、伝統文化等に関する体験活動の機会を提供

(7) 地域ぐるみの子ども安全推進 22,574 (22,829)

①防災教育の推進

京都市防災教育スタンダード実践など学校教育全体を通して防災教育を展開

②地域ぐるみの学校安全体制整備推進

スクールガード・リーダーによる学校の巡回指導，学校安全ボランティアによる見守り活動

③学校安全ボランティア講習会の開催

全小学校区において、約2万人ものボランティアにより展開している登下校時の「見守り活動」の次世代のリーダーを育成

④自転車交通安全教育の推進

平成22年11月公布の「京都市自転車安心安全条例」に掲げられた取組の推進

⑤水泳指導における安全管理の徹底

「小学校における水泳指導の手引」と「小学校の水泳指導における安全管理指針」に基づき、  
また、「プール事故第三者調査委員会報告書」も踏まえ、組織的な安全管理を徹底する

(8) 食育の充実 127,017 (103,340)

～無形文化遺産の未来への継承～

①京都をつなぐ無形文化遺産「京の食文化」普及・啓発事業

「和食 日本人の伝統的な食文化」がユネスコの無形文化遺産に登録され、  
また、「市民が残したい“京都をつなぐ無形文化遺産”制度」第1号として選定された  
「京の食文化ー大切にしたい心、受け継ぎたい知恵と味」の普及・啓発

知産知消(地産地消)の取組推進，日本料理アカデミーと連携した日本料理に学ぶ食育カリキュラム，  
司厨士協会による中学校出前授業，京都市中央卸売市場協会による小学校出前板さん教室，  
チャレンジクッキング(保護者と子どもを対象とした学校給食の調理実習会) など

②学校給食における「和食」の充実

日本人が大切にしてきた心と知恵が詰まった「和食」文化を次世代に継承していくため、  
学校給食における「和食」の充実を目指すとともに、料理の味わいを感じることのできる食器  
の導入などを進める

**新**③市独自予算による栄養教諭の配置拡大[20,000]

(9) 健康教育・子どもの体力向上推進 469,905 (490,549)

①フッ化物洗口 全小学校実施

むし歯予防の更なる推進に向け、政令指定都市で初めて、小学校全校実施

②エイズ・薬物指導の推進

エイズ教育の研修充実、薬物乱用防止教室の全中学校・高校での実施及び全小学校での推進等

③小・中・高運動部活動

子どもたちの体力の向上と、生涯にわたって自らスポーツに親しむ資質を育む

④2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とした体力向上・競技力向上

2020年に東京オリンピック・パラリンピック大会が開催されることを契機とし、小学生の体力向上、  
中学・高校生の競技力向上のための取組を実施

**新**⑤外部コーチ派遣拡充など運動部活動指導体制の充実[17,900]

より専門性の高い外部指導者の派遣を拡充することにより、専門的な知見を生かした  
指導体制を充実し、教員の多忙化を解消するとともに、運動部活動の更なる活性化を図る

幼稚園等における保健指導の推進，食物アレルギー対応に関する体制・連携推進，  
こども体育館運営，「まち道場」の推進 など

(10) 子ども読書活動の推進(国語力・読解力向上総合推進事業) 169,934 (149,363)  
 <再掲「学習指導の充実」>

(11) 家庭の教育力向上サポート事業 29,040 (34,653)  
 [再掲5,313]

- ①子どもを共に育む「親支援」プログラム  
 妊娠期から思春期までの子どもを持つ保護者を対象とした親支援プログラム「ほっこり子育てひろば」の実践
- ②青少年のための「親学習」プログラムの実践  
 中学生をはじめ、これから親になる世代である青少年を対象に、乳幼児とのふれあい体験を通じて、親としての心構えや必要な知識・技術等を学ぶ
- ③携帯電話・インターネット不適切利用防止対策の推進  
 インターネット上の誹謗中傷や個人情報などの書込みの監視を民間業者へ委託  
 携帯電話・インターネット利用の危険性等緊急課題の解決に向け、携帯情報通信機器(スマートフォン・ゲーム機など)に関する学習啓発プログラムを活用し、子どもたち自身が大人と共に課題を共有し、自らで解決策を探る取組の推進  
 子どもの携帯電話・インターネット利用に関わる保護者向け・市民向けの啓発活動を展開  
 「おやじの会」活動の推進, 家庭教育新聞「あしたのために」, 京都市PTAしんぶん など

(12) 各種健全育成事業 166,426 (164,903)  
 人づくり21世紀委員会(市内114団体が参画), 青少年団体活動支援, 京都市少年合唱団運営, 野外活動施設「花背山の家」運営, 野外教育センター「奥志摩みさきの家」運営など

### 3 高等学校教育の充実

614,098 (676,275)

(1) 市立高校改革の更なる推進・充実

614,098 (676,275)

～生徒の個性が輝く魅力あふれる高校づくり～

- ①市立高校かがやきプラン  
 高校教育制度改革を踏まえた魅力あふれる高校づくりの推進に向けた取組
- ②市立高校ハイパークリエイティブプロジェクト  
 学校長の明確なビジョンの下, 大学・研究機関・産業界との連携, 各種講座の開設 など
- ③教育内容の充実  
 市立高校海外研修, 進路指導の充実, 高校コンソーシアム事業 など
- 新**④「政治的教養を育む教育学習指導案集」を活用した体系的な教育の実践[3,900]  
 選挙権年齢が18歳以上に引き下げられることを受け, 本市独自で作成する「政治的教養を育む教育学習指導案集」の活用により, 体系的な取組を推進する
- 新**⑤「新しい定時制単独高校」の創設に向けた基本設計・実施設計着手
- 新**⑥洛陽工業高校敷地での「新しい普通科系高校」創設に向けた基本構想策定  
 <⑤⑥の経費については, 「5 教育環境の整備充実」で計上>

### 4 幼児教育の振興 ～子育て支援施策の充実～

2,470,514 (2,386,811)

(1) 子育て支援総合センターこどもみらい館運営

50,634 (51,044)

保育士・幼稚園教諭の資質向上を目指す共同機構研修・研究, 子育てなんでも相談, 子育てパワーアップ講座, 子育て支援ボランティア養成講座 など

- (2) 私立・市立幼稚園における預かり保育の充実 164,456 (154,700)  
「子どもたちの今と未来をみんなではぐくむ子育て支援都市・京都」の実現のため、長年、常に時代に  
順応した質の高い幼児教育・保育を実践してきた幼稚園の機能を生かし、保護者の就労状況等も  
踏まえた多様な幼児教育・保育ニーズに応えるための預かり保育の更なる充実を図る
- (3) 市立幼稚園の教育内容の充実 143,430 (142,679)  
[再掲62,156]  
地域の子育て支援事業(市立幼稚園園庭開放事業等),  
親子の学びと育ちの広場, 親子音楽鑑賞教室, 園教具整備, など
- (4) 私立幼稚園助成 2,276,450 (2,193,088)  
[再掲102,300]
- ①私立幼稚園就園奨励費教材費の充実  
国における幼児教育無償化への段階的取組を踏まえた保護者負担軽減の充実
- ②第3子以降の幼稚園保育料免除事業関連費  
府市協調により, 子どもが3人以上いる世帯の3人目以降の保育料のほぼ無償化を実施  
特色ある幼稚園教育推進事業(園庭開放等) など

## 5 教育環境の整備充実

8,045,543 (12,361,443)

### (1) 学校新增改築事業

2,160,780 (6,418,200)

①児童・生徒数の増加に対応するための学校増収容対策

「御所東小学校(仮称)」整備事業, 久世西小学校などにおける校舎等増改築や  
既存校舎改修に着手

②小中一貫教育校整備の推進

**新**③「新しい定時制単独高校」の創設に向けた基本設計・実施設計着手[60,200]

**新**④洛陽工業高校敷地での「新しい普通科系高校」創設のための基本構想策定[13,000]

### (2) 環境にやさしい新しい学校づくり推進

1,408,100 (1,408,100)

省資源・省エネルギーなど環境負荷低減を踏まえた環境に配慮した校舎の長寿命化事業実施

### (3) 学校体育館・プール等整備事業

2,321,620 (1,920,900)

防災機能強化・長寿命化・環境配慮に向けた学校体育館及びプールの改築・リニューアル事業  
の整備促進など

### (4) 学校施設等の教育環境整備

1,842,343 (1,789,643)

生活様式の変化に対応した学校トイレの洋式化の一層の推進  
普通教室等の空調機更新や青少年科学センター学習棟トイレ改修など

### (5) 避難所施設等(閉校施設)の耐震化推進

312,700 (824,600)

## 6 生涯学習の推進

2,043,536 (2,017,641)

### (1) 各種生涯学習事業

68,163 (67,449)

生涯学習市民フォーラム, 社会教育委員による出張講座「京まなびミーティング」の実施,  
生涯学習パスポート「京まなびパスポート」, 生涯学習情報検索システム「京まなびネット」の運営,  
生涯学習アドバイザー, 博物館ネットワークの充実(スタンプラリー「京都ミュージアムロード」など),  
成人教育事業, 女性教育事業, 温もりの電話相談事業, 学校コミュニティプラザ事業,  
障害のある市民のための講座, 障害のある方の芸術活動支援事業 など

### (2) 成人の日記念式典及びはたちプロジェクト

16,341 (15,086)

小学4年生による「1/2成人式」, 過去に成人式に参加できなかった人の「思い出成人式」など

### (3) 家庭の教育力向上サポート事業 <再掲「児童・生徒の健全育成」>

29,040 (34,653)

### (4) 生涯学習総合センター・図書館運営

1,886,605 (1,854,788)

#### ①生涯学習総合センター

「古典の日記念 京都市平安京創生館」運営, 古典の日記念事業「古典の祭典」や  
講演会の開催など生涯学習の拠点施設としての生涯学習総合センター運営

#### ②京都市図書館

乳幼児連れでも気軽に行ける児童コーナーの整備や“あんしん・かいてき図書館トイレ”整備など,  
市民の利用促進に向けた中央図書館4館・地域図書館14館など京都市図書館運営  
子ども読書活動推進に向けた, 図書館専用車両(青い鳥号)による学校・園への出前事業の実施  
**新** 中央図書館4館における夏季土曜日の開館時間延長の試行実施  
(開館時間 17時まで→19時まで)  
録音図書データの提供や拡大読書器の更新など視覚に障害のある方々の更なる利便性向上

### (5) 学校歴史博物館運営

18,120 (20,591)

常設・企画展示, 収蔵品の収集・保存・整理事業, 調査・研究の充実, 各種講座・体験教室開催 など

### (6) 青少年科学センター市民科学事業

25,267 (25,074)

#### ①展示スペースリニューアル

平成31年の設立50周年に向け, 科学の原理・原則をふまえつつ, 最新情報に基づく  
話題性, アピール性を重視した新規展示品を年次計画的(平成26年度から5年間)に  
整備するなどの展示スペースのリニューアルを実施

#### ②企業・大学等と連携した特別展示

京都の最先端企業から提供を受けた展示品により, 科学の原理・原則が実社会で有用に  
されていることを体験できる特別展を開催するとともに, 開催終了後の提供展示品を常設化

#### ③未来のサイエンティスト養成事業

企業・大学等と連携した理科・科学好きな子どもたちの探究活動の場の創設

#### ④京都科学屋台ネットワーク

京都市科学系博物館等連絡協議会(現在23施設)や「青少年と科学の会」との連携により,  
各種の催しに出向いて実験を披露するなど, 楽しく科学を学べる機会を提供